

平成30年度事業報告

1. 総会及び理事会等会議の開催

種 別	期 日	会 場	出席者数	決 議 事 項 等
監 事 会	30. 4. 25	ハム・ソーセージ 会 館	監事 4名	平成29年度収支決算等に関する事項
理 事 会	30. 4. 25	ハム・ソーセージ 会 館	理事 16名 監事 4名	平成29年度決算について 平成29年度予算について 総会提出議案について 役員給与規程の改正について
理 事 会	30. 5. 30	石川県金沢市 ANAクラウンプラザ ホテル「鳳の間」	理事 17名 監事 5名	委員会委員の委嘱について
第15回定時 社員総会	同 上	同 上	70名 (委任状によ る出席46名を 含む)	①平成29年度事業報告承認の件 ②平成29年度決算報告書承認の件 ③平成30年度事業計画報告の件 ④平成30年度収支予算報告の件 ⑤入社基準決定の件 ⑥平成30年度会費及び徴収方法決定の 件 ⑦平成30年度加入金決定の件 ⑧平成30年度借入金最高限度決定の件 ⑨常勤理事報酬最高限度決定の件 ⑩理事18名及び監事5名任期満了に伴う 役員改選の件 ⑪常勤理事に対する退職手当の件
理 事 会	30. 9. 26	ハム・ソーセージ 会 館	理事 16名 監事 3名	経理状況報告について
理 事 会	31. 1. 29	浜松町東京會 館「刈刈」	理事 16名 監事 2名	育児・介護休業等に関する規定及び就業 規則の一部改正について 社員の加入について
理 事 会	31. 3. 27	ハム・ソーセージ 会 館	理事 15名 監事 4名	平成31年度事業計画及び収支予算(案) について 就業規則の一部改正について 社員の退社について

J A S 認証業務評価委員会	31. 3. 11	ハム・ソーセージ 会 館	委員 3名	本研究所の審査、認証及び意思決定プロセスの公平性について 公平性のリスク分析の結果に対する評価
登録検査機関 検査業務評価 委員会	同 上	同 上	委員 3名	厚生労働省登録検査機関に係る業務の信頼性確保について

## 2. 事業に関する事項

- (1)平成 30 年 4 月 12 日～14 日の 3 日間、東京ビッグサイト東 4 ホールで開催された「2018 食肉産業展」に(一社)日本食肉加工協会、日本ハム・ソーセージ工業協同組合と共同で出展し、J A S 規格制度及び J A S マークの紹介、当研究所の検査業務の紹介を行った。
- (2)平成30年5月30日、石川県金沢市「ANAクラウンプラザホテル」で開催の第15回定時社員総会で、任期満了に伴う役員改選の結果、  
猪口由美、岩崎充利、木下良智(新任)、金井俊男、菊地 令、菊池英夫、清田種嗣、小森嘉之、塩島 勉、竹田 清、南波利昭、服部昭仁、姫田尚(新任)、平嶋裕一(新任)、福原康彦(新任)、松井鉄也、松井陽樹、村井功誠の18名が理事に、  
小田木 毅、帯谷伸一、宮島成郎、村上隆の4名が監事に選任された。  
次に役付役員の互選が行われた結果、  
理事長木下良智、専務理事猪口由美、代表監事帯谷伸一が選任された。
- (3)平成30年6月18日、役員の変更登記を完了した。
- (4)平成30年10月2日、3日(独法)農林水産消費安全技術センター(FAMIC)によるJAS法に基づく事業所調査及び製品検査施設調査を受けた。不適合は無く、登録認証機関としての体制が維持、運用されていると判定された。
- (5)平成30年11月28日にISO17025審査登録機関であるペリジョンソラボラトリー アクレディテーション イク(PJLA)による2年毎の更新審査を受け、不適合はなく、適正であると判定された。
- (6)厚生労働省登録検査機関の登録の有効期限(5年間)が平成31年4月18日までであることから、平成31年1月10日付けで関東信越厚生局に登録更新申請書を提出し、1月18日に立入検査が行われた結果、平成31年4月8日付で令和6年(2024年)4月18日までの登録更新が認可された。
- (7)国産冷蔵豚肉の輸出促進のため、(一社)日本養豚協会との業務請負契約により、わが国の冷蔵豚肉の賞味期限に関する調査試験を実施した。
- (8)ベーコン類等7品目のJAS規格の見直しについて、現行規格の期限が令和元年8月に設定されていること及び平成29年6月のJAS法改正でJAS規格の見直しは事業者等が主導する体制に移行したことから、「ベーコン類等JAS規格検討プロジェクトチーム」を設置し、平成30年12月3日に会合を開き改正要望事項を検討した。国からJAS規格原案を平成31年3月

未までに取りまとめてほしいとの要請があり、プロジェクトチームとしてはJAS規格改正要望を3月末までに取りまとめるのは困難であると判断し、今回は現行規格をそのまま継続することとし、(一社)日本食肉加工協会と連名で平成31年3月27日に農林水産省に「維持」する旨の申出書を提出した。

- (9) 令和2年4月からの食品表示法に基づく栄養成分表示の完全義務化に向けて社員等の円滑な対応に資するため、(公社)日本食肉協会の助成を受け栄養成分分析検査の支援を行った。
- (10) 平成31年3月6日～8日まで東京都中央卸売市場食肉市場を主会場に開催された「第11回全日本大学対抗ミートジャッジング競技会」に協賛、協力した。
- (11) 平成31年3月30日、神奈川県相模原市「麻布大学」において開催された第60回日本食肉研究会総会及び大会に協賛、協力した。

### 3. 社員に関する事項 (平成31年3月31日現在)

期 別	社 員 種 類					
	正 社 員	正社員甲	正社員乙	正社員丙	賛助社員	総 計
前期末現在	80	2	0	0	2	84
今期入社	1	0	0	0	0	1
今期退社	2	0	0	0	0	2
今期末現在	79	2	0	0	2	83

(注) 正社員：(一社)日本食肉加工協会及びその会員  
 正社員甲：食肉製品製造を事業とする者  
 正社員乙：食肉製品製造を事業の一部として経営する者  
 正社員丙：食肉加工を事業とする者  
 賛助社員：食肉加工あるいは食肉製品製造の業に関連する事業を行なう者

### 4. 事業の概要

#### (1) JASに関する業務

##### ア) 平成30年度におけるJAS格付状況

区 分	格付数量	対前年度比
ベーコン類、ハム類、プレスハム及びソーセージ	126,099トン	1.8%減
熟成ハム類、熟成ソーセージ類及び熟成ベーコン類	25,898トン	7.2%減
ハンバーガーパティ	32,562トン	3.0%増
チルドハンバーグステーキ	1,599トン	5.7%減
チルドミートボール	4トン	3,978.5%増

イ) J A S 認証工場数 (平成31年3月31日現在)

期 別 \ 農林物資	ベーコン類等	熟成ハム類等	ハンバーガー パティ	チルドハンバーグ ステーキ	チルドミート ボール	合 計
平成29年度末	87*	59*	3	5*	1*	155
認 定	2	1	0	0	0	3
辞 退	2	2	1	0	0	5
平成30年度末	87*	58*	2	5*	1*	153

\* : 外国製造業者1を含む。

ウ) 熟成ハム類、熟成ソーセージ類及び熟成ベーコン類に用いられているこれまでの特定 J A S マークが、平成30年12月28日付で、新たなデザイン(特色 J A S マーク)に改正された。経過措置期間は令和4年(2022年)3月31日までとされている。

エ) J A S 認証工場は、平成30年度定期確認調査において、すべて適正であった。また、当研究所が行う J A S 認証工場定期確認調査の現場に、FAMIC が立ち会う調査は、延べ2工場について実施され、不適合はなかった。

オ) J A S 証票を印刷できる登録印刷工場は、ベーコン類等121工場、熟成ハム類等82工場、ハンバーガーパティ、チルドハンバーグステーキ及びチルドミートボール30工場となった。

カ) 品質管理担当者等講習会の開催

区 分	期 日	会 場	受講者数
品質管理担当者講習会	30.7.19	フォーラムエイト(東京都渋谷区)	56名
	30.7.20	新大阪丸ビル(大阪市)	21名
品質管理責任者等専門講習会	31.1.25~26	クラリア品川(東京都品川区)	69名
格付検査担当者技能研修会	31.1.27	ハム・ソーセージ会館	15名

(2) 一般依頼検査等に関する業務

ア) 平成30年度に実施した一般依頼検査、輸入食品検査の件数は下記の通りであった。

区 分	一般依頼検査			輸入食品検査	合 計
	理化学検査	細菌学検査	その他検査		
件 数	9,038件	6,857件	596件	7,486件	23,977件

イ) 各検査項目の精確かつ効率的な検査方法の開発に努めるとともに、内部精度管理、内部点検を実施し信頼性確保に努めた。また、外部精度管理調査については、国内外の機関が行う調査に引続き参加し、検査精度の向上に努めた。

(3) 平成30年度における研究発表

学会名	表題
第125回日本畜産学会大会	長期熟成に伴う牛肉の食味性の変化と呈味性成分との関係

- (4) (一社)日本食肉加工協会主催の「初級食肉加工技術講習会」及び「HACCPシステムに基づく衛生管理講習会(食肉製品)」に技術協力した。

### 附 属 明 細 書

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和元年5月

一般社団法人 食肉科学技術研究所